

(様式1)

## 令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(与進小)学校運営協議会長

### <本年度の目標>

- ・今までのものを土台とし、さらに学校運営の基本方針にそって子供たちにとって何がよいかを、学校応援団として具体的に考えていけるようにする。
- ・挨拶運動については、継続していく。子供達から挨拶が行なえる様にしたい。また、「よい行いはほめ」「よくない行いはその場で注意」を心掛けながら子供達と関わっていく。
- ・学校だけで育てる時代ではなく、「学校」「家庭」「地域」がそれぞれの役割を理解し、協力していく必要がある。そのためにも、もう少し周知方法を工夫していく。

### <評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、それについて各委員が様々な視点で学校運営に意見を述べ、充実した熟議となった。
- ・目標や課題が共有できたと思う。しかし、学校・地域で一緒に子供を育てる教育目標として、何のために、どんな姿を目指すのかを十分に共有するようにしていきたい。
- ・基本方針について地域コミュニティがどのように関わることで、子供たちの育ちをその方向に推進できるか昨年度の実績を振り返りつつイメージできた。地域でどんな関わりが必要か熟議時間を設けていきたい。

### <評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校運営協議会の実質の支援としては、基本的には「与進の子応援団」のスケジュールに沿って学習支援の実施をしているが、委員全員が共有しているとは言えない。もっと、熟議をして、課題を各団体に持ち寄り、サポートの充実、情報の共有を図っていきたい。
- ・校外活動ボランティアや家庭科ミシン授業サポートボランティア等の募集を民生委員への活動で伝え、わずかながら支援者も生まれ協力が徐々に広げられる感じである。必要なボランティアの数や実施方法等、報提供をより詳しくしていき、もっと地域に広げられる熟議をしていきたい。
- ・学校が必要としている支援について、先生方から具体的な支援内容を伺ったことで、教育活動の充実につながるような学校支援活動について様々な意見を出し合い熟議を進めることができたと思う。

### <評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・学校のホームページで、各回の会議録等を掲載している。
- ・「CSだより」にて地域への発信(回覧等)をしているが、情報がどこまで伝わっているかが疑問である。
- ・自分の担当する民生委員児童委員協議会には、主任児童委員を通じて学校の様子や子供達の動きを伝えてくれている。150周年記念の行事や石碑の設置等も、定例会の場面で周知し「かわいいのができたね」と実物を見て話してくれていた。
- ・学校支援活動の様子を具体的にタイムリーにメール等で伝えることができた。ボランティアの方々にも他の活動についても知らせることができたのはよかった。
- ・学校が必要としている支援について、支援者に直接情報発信を行いました。CSだより等を通じて、協議結果や活動内容を情報発信することで、CSの認知度を高めることができた。もっと上げていきたい。

### <評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・学校運営協議会で、学校が依頼する必要な支援を確認し、それを実現していくためにはどうすればよいかの熟議を行う。またその支援を行うために、自治会やPTA、民生委員、協働センターなど適切な組織に協力を依頼していく。そして、更なる充実を図っていく。
- ・地域がどう関わる必要があるか実態をふまえ「子どもたちが生きる時代、担い手から創り手の育成」をより意識し、豊かな人・物・事との経験ができるよう支援していく。そして、地域の教育力を向上させ、地域で子供を育てていく。